

日本共産党 栗橋後援会ニュース

2017年3月号No.167 部内資料
発行 日本共産党栗橋後援会
TEL 0480-52-2059 野中

久喜市議員 石田としはるコーナー



「済生会病院が残ってほしい」との強い思いが溢れたのだと思います。この声が、済生会に届いてほしい。そんな気持ちでいっぱいです。しかし、2月15日には第6回目の「あり方」会議が開催され、済生会栗橋病院からは「B案、すなわち加須市にて施設整備をする」との意向が示されました。これに対し久喜市は「賛成できない。現在地

済生会は市民に説明を

最近「済生会栗橋病院移転反対」のポスターが栗橋の全地域に貼り出されました。

「済生会病院が残ってほしい」との強い思いが溢れたのだと思います。この声が、済生会に届いてほしい。そんな気持ちでいっぱいです。

しかし、2月15日には第6回目の「あり方」会議が開催され、済生会栗橋病院からは「B案、すなわち加須市にて施設整備をする」との意向が示されました。これに対し久喜市は「賛成できない。現在地

マスメディアの役割

今日、多くの人たちに情報を提供するマスメディアには幾つかの種類があります。古くからある新聞や雑誌など紙の媒体を用いたものを除くと、最もポピュラーなのはテレビでしょう。インターネットという最新のメディアがありますが、携帯電話やコンピュータを操作する必要があるので年配の方は苦手です。

最近ではスマートフォンが普及しているためか、リアルタイムで事故や火災の画面が放映されます。天気予報と共に見る機会が多いニュース番組ですが、すっかりパターン化しているようです。

トランプ米大統領の乱暴極まりない言

動、小池劇場のあれこれが必ず採り上げられ、これに最新の事件報道を混ぜた番組編成は各局とも殆んど同じです。

国会では、内戦状態にある南スーダンへの自衛隊派遣をめぐる稲田防衛大臣の態度、「共謀罪」に関する金田法務大臣の答弁などが追及されていますが、マスメディアの採り上げ方は小さく、この問題の危険性をしっかり報道しているとは言い難いものがあります。

日本のメディアが頼りなくなっている今、多数議席を武器に悪法を次々に持ち出す安倍政権の実態

に残る『A』案であれば必要な支援をする」と表明し、結論は3月の会議に持ち越しとなりました。

私は議会で、「あり方」は、済生会病院が市民の命と健康を守るにはどうあるべきかを検討し、市民



済生会病院は市民との対話を

を知らせ、変革を訴える活動はますます重要です。

日本共産党栗橋後援会

会長 野中芳郎

や関係団体の理解を得る場とすべきで、加須市はその結論が出る前から「札束を積み」会議の場を「競り」の場にしてしまった。久喜市の対応は適切であると評価しました。

市民の理解は得られたか？得られていません。済生会病院は「あり方」で結論を出す前に、栗橋の市民に説明する責任があります。

栗橋町が誘致し、市民と病院が共に手をつなぎ医療連携を作り上げて来たのです。済生会栗橋病院には、お金に替えられない貴重な財産が積み上がっていると私は思います。

日本の野鳥 (25)



今回紹介します鳥は日本で生まれ育っているツルで、頭頂部の赤い(丹)皮膚から「**タンチョウ**」と呼ばれております。一時は絶滅しかかりましたが、釧路近郊の鶴居村などでの保護活動により、次第に復活してきました。主な生息地は釧路湿原に集中し、その地域を広げる活動にも関わらず、あまり広がっていません。タンチョウはその鳴きあいや踊りなどがよく知られています。つがいは一度成立しますと、一生継続と言われております。

写真・文 山中 武士

日本共産党栗橋後援会

恒例の「桃の花見」

いつ：3月26日(日) 11:00 ~

どこで：古河総合公園

参加費：1000円



皆さんの参加をお待ちしています



2月25日、栗橋地域総行動(提灯デモ)は、40名が参加し行なわれました。

